

# PRESS RELEASE



2011年5月18日  
財団法人日本産業デザイン振興会

## 2011年度グッドデザイン賞 本日より応募受付開始

総合デザインプロモーション機関の財団法人日本産業デザイン振興会（東京都港区、会長：岡村正）は、2011年度のグッドデザイン賞の応募受付を、グッドデザイン賞のウェブサイトで本日5月18日（水）より開始いたしました。

本年度で55回目を迎えるグッドデザイン賞では東日本大震災後の社会情勢をふまえ、復興に向けた被災地域のものづくりやデザインを支援するため、被災地域からの応募について費用を全額免除（※次ページ参照）するなどの特例措置を設けて実施いたします。また、総合オンラインストア「Amazon.co.jp®」とこれまで以上に流通面で連携を図り、グッドデザイン賞を受賞した優れたデザインを広め、暮らしを豊かにする一助となる施策を展開してまいります。本年度の展開にご注目いただくとともに、貴媒体への情報掲載をご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

### ■ 2011年度グッドデザイン賞 主要スケジュール

5月18日（水）	応募受付開始
5月18日（水）～6月22日（水）	応募説明会開催（全国6カ所・計14回）
7月4日（月）	応募受付・一般推薦 ※注 締め切り
8月3日（水）～9月1日（木）	一次審査通過対象情報のウェブサイト公開
8月26日（金）～8月28日（日）	グッドデザインエキスポ
10月3日（月）	受賞結果発表
11月初旬	表彰式
2012年2月	受賞年鑑発刊

※注：一般推薦の受付について

グッドデザイン賞では一般からの推薦を受け付けています。推薦されたデザインは、事務局からその製品や建築、サービス、活動の主体者となる企業やデザイナーに応募を呼びかけます（応募は主体者の判断によります）。

※上記のスケジュールは変更になる可能性があります。

※詳しい情報はグッドデザイン賞のウェブサイト< <http://www.g-mark.org> >に掲載しています。

2011年度グッドデザイン賞 審査委員長

深澤直人 (Naoto Fukasawa) プロダクトデザイナー／NAOTO FUKASAWA DESIGN 代表

2011年度グッドデザイン賞 審査副委員長

佐藤卓 (Taku Satoh) グラフィックデザイナー／佐藤卓デザイン事務所 代表取締役



〔参考資料〕グッドデザイン賞（Gマーク）：1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨事業。商品や建築をはじめとする各種の産業分野を対象に、これまでに37,000点以上の受賞作品を選出し、生活と産業のクオリティを高める活動を行なっている。 URL： <http://www.g-mark.org>

一般からのお問い合わせ先：財団法人日本産業デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局

電話 03-6743-3777 E-mail [info@g-mark.org](mailto:info@g-mark.org)

報道関係のお問い合わせ先：2011年度グッドデザイン賞 PR 事務局（株式会社オズマピーアール内）

電話 03-3403-0283 FAX 03-3403-0289 担当：木村、近江、西村

## ■ 2011 年度審査委員長 深澤直人氏からのメッセージ

### 2011 年度グッドデザイン賞にむけて

この度の東日本大震災で被災された皆様、ご関係者の皆様に、心からお見舞い申し上げます。

日本中の人々がこの未曾有の災害に直面し、生活の価値観に対する思いを改めて見つめ直しています。一人一人が今自分にできることを真剣に考え、豊かさとは何か、幸せとは何かを感じ直しています。

デザインの善し悪しの判断は、常に生活の価値観やその時々の人々の豊かさの定義にそって問われてきました。

節電で暗くなった今の都市の夜を、不思議と悪く言う人はいません。むしろ過剰だった今までの明るさを振り返り、これでも暮らせるという「適正さ」を自覚しているかもしれません。しかし過剰に明るかったあかりをただ間引いても、寂しいだけで美しくはありません。北欧の街の灯のように、美しい暗さができて初めて街に適正な明るさの調和が生まれると言えます。

デザインは、常に「適正」を問い続けることだと思います。デザインは、常に「適正」という美の軸を中心に揺れています。そして今は「適正」だと思い込んでいた軸の位置を、大きくシフトしなければならない時期かもしれません。

そういった意味でも、今年のグッドデザイン賞は今までとは少し異なった選定の基準になるでしょう。今までよりも、さらにサステナブル(持続可能)なものが必要になるでしょうし、明らかな無駄は排除し、ゴミにならず、未来に対して繋がっていくものでなければなりません。そしてまた、自然を押さえ込むのではなく、共存していく知恵がこもったものであることが問われるでしょう。

デザインは、こういった災害の前でも決して無力ではありません。常に生活に根ざした適正な解を見出す力となるデザインの価値を、忘れてはならないと思います。

グッドデザイン賞審査委員長  
深澤 直人

### ■ 東日本大震災に伴う特例措置について

2011 年度の応募について、東北 6 県(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)および茨城県に本社(個人事業主の場合は主な拠点)を置く応募者からの応募については、グッドデザイン賞に関わる全費用を免除するほか、G マークの使用料についても、本年度受賞対象に関する 2012 年 3 月末日までの申込分は、その使用料を一年間免除します。(詳細は応募要領に記載しています)

### ■ Amazon.co.jp® との連携について

2011 年度のグッドデザイン賞では、総合オンラインストア「Amazon.co.jp®」を通じて、デザインフェア「グッドデザインエキスポ」に出展された商品およびグッドデザイン賞受賞商品の紹介、販売プロモーションを実施します。Amazon.co.jp 内の「グッドデザイン賞ストア」(<http://www.amazon.co.jp/gdas/>)は財団法人日本産業デザイン振興会の協力のもと 2006 年 10 月よりオープンし、当会は受賞商品の PR に取り組んでまいりました。本年はその連携をさらに強化し、下記のプロモーションを実施いたします。

#### < 1 > 「グッドデザインエキスポ 2011」出展デザインの紹介、販売プロモーション

グッドデザイン賞二次審査会後の会場を公開して開催するデザインフェア「グッドデザインエキスポ 2011」に展示される一次審査通過対象のうち、Amazon.co.jp で取り扱いのある商品については Amazon.co.jp 内特集ページに情報を掲載します。

#### < 2 > 2011 年度グッドデザイン賞受賞商品の販売プロモーション

2011 年度の受賞対象のうち Amazon.co.jp で取り扱いのある商品は、受賞者の希望により「グッドデザイン賞ストア」に情報を掲載します。各商品の詳細ページでは、当会が提供する受賞商品の「デザイナー名」「デザイナーのコメント」「審査委員の評価コメント」など詳細な情報を掲載。一般的な商品情報に加え、デザインについての解説やデザイナーの想いを消費者に伝えることで、デザインに関心の高い生活者に対して販促効果を高めます。

Amazon.co.jp について (<http://www.amazon.co.jp>) : 2000 年 11 月 1 日に営業を開始した Amazon.co.jp は、現在 2,000 万種類を超える和書、洋書、CD、DVD、家電 & カメラ、ホーム & キッチン、おもちゃ & ホビー、ヘルス & ビューティー、ベビー & マタニティ、アパレル & ファッション雑貨、食品 & 飲料などを取り扱っています。Amazon.co.jp は、米国ワシントン州シアトルを本拠地とする Fortune 500 企業である Amazon.com, Inc.(NASDAQ: AMZN) の関連会社が運営する国際的なサイトの 1 つです。

Amazon.co.jp での商品取扱いに関するお問い合わせ先 :  
Amazon.co.jp グッドデザイン賞ストア担当 E-mail [g-mark@amazon.co.jp](mailto:g-mark@amazon.co.jp)  
Amazon.co.jp に関する報道関係のお問い合わせ先 :  
アマゾン ジャパン株式会社 広報部 電話 03-4288-4020 E-mail [press@amazon.co.jp](mailto:press@amazon.co.jp)